

産業建設常任委員会



委員会審査風景

平成23年度合志市一般会計 補正予算について

(農業委員会事務局)

問 農地の貸し借り面積は。

答 平成23年度合計で、44万4696平方メートルを予定している。

(農政課)

問 歳入関係で合併特例債を一般財源で対処した理由は。

答 市債の借入で「臨時財政対策債」にまだ余裕があったため、こちらのほうが100%交付税措置されるので切り替えたものである。

(建設課)

問 道路改良等工事の6路線の完了予定年度は。

答 用地が確保できたとして大津植木線が平成24年度、建山2号線及び須屋線が平成23年度、大池植木線が平成26年度、上群中林線が平成27年度を予定している。

(都市計画課)

問 耐震対策費について、今年度も申請がなく事情はあると思うが、来年度も同額計上されている。どういうことになっているのか。

答 耐震診断の補助だけでなく改修補修についても現在対応作業を始めており、新年度の早い時期に改修に関する要綱を定めて改修工事の補助もできるように準備を進めている。

平成24年度合志市一般会計
予算について

(農政課)

問 県営畑総事業で運営されている堆肥センターの事業内容や事業実績等は十分精査されているのか。

答 堆肥センターは2か所あり、JAとバイオXが運営している。この事業は県が建設したものを市が県から譲り受けた形で貸し付けている。5年間でJAとバイオXに払い下げるということで、あと1年で払い下げし、以降は各社での運営となるが、経営的にはいまだ赤字には至っていない状況である。

(商工振興課)

問 ユーパレス弁天の位置づけと今後の運営は。

答 健康増進のための施設として、また集客力を上げ、稼げる施設にする必要がある。さらに地元に愛

(都市計画課)

問 公園関係の費用で、使用料及び賃借料の中身と、遊具点検改修については毎年なのか隔年なのか。

答 土地借り上げ料については、黒石公園の分の120万円と蛇ノ尾公園と竹迫城跡公園の地権者3人分の8万4000円である。

また、公園遊具の点検については、毎年行っている。

平成24年度合志市下水道特別会計予算について

(建設課)

問 12月市議会で決議された老朽化した舗装の改修についてはどのような当初予算に反映されたか。

答 平成24年度は舗装に力を入れた予算となっている。

また、公園遊具の点検については、毎年行っている。



スマートインターチェンジ計画付近

総務常任委員会

合志市暴力団排除条例について

(反対討論)

警察が一方的に暴力団と認定し、それを排除していくことが法のもと憲法も含め平等なのか。暴力団だから公の場から追放していくのは危険性がある。憲法の論理からみずい。予防的な排除に反対の立場から反対する。

(賛成討論)

県内各自治体も制定していく方向に進んでいるし、平和な世の中になるためにも必要であるので賛成する。

合志市税条例の一部を改正する条例について

(反対討論)

基本的には反対ではないが、復興増税を自治体として何に、どう使っていくのか明確でなく一方的な増税になる。具体的な策や方向性をもって提案すべき。

(賛成討論)

23年から27年までの復興期間で復興財源として増税を実施すること。増税はあまり良くないが、仕方ないと考える。

平成23年度合志市一般会計 補正予算について

(財政課)

問 交付税増額の要因は。

臨時財政対策債への振り替え額の減額や、市民税の減少及び交付税算定を厳しく見積っていたため。

(市民課)

問 パスポート申請の状況は。

答 県下で3番目に多く、2月末で、542件の申請があり、1件に15〜20分の時間が掛かり窓口において、他の来客と重なることもあるので、プライバシーの問題も今後考える必要がある。

(環境衛生課)

問 可燃物ごみが増加しているが、対応は。

答 全体的に増加している。人口増や減量化において市民への周知不足があると思われる。今後市民へ分別や、ごみ減量の意識を向上させる策をとっていきたい。

平成24年度合志市一般会計
予算について

(財政課)

問 西合志庁舎の受変電設備改修において柱上高圧開閉器(PAS)の交換も含んでいるのか。

答 設計には含んでいないが検討する。

(総務課)

問 通学路の防犯灯設置状況はまた、通学路の設置基準は。

答 毎年通学路については、要望があるのでその都度設置している。



西合志庁舎受変電設備

各自治体内は原則自治会ですが、区長さんと協議の上、設置している。

(まちづくり戦略室)

問 アニメを生かしたまちづくりの状況は。

答 補助金などを使ってもっと具体的なものにしていきたい。

問 市長の運転業務を職員で対応することだが、安全面等問題はないのか。

答 今年一年かけて、検討させて頂きたい。

(企画課)

問 地域公共交通で、3年間の実証実験を行ってきたが、今後協議会運営に変化はあるのか。

答 市民代表委員による作業部会で作業を行い協議会に望むスタイルだが、今後は、より専門的知識



三ツ石交叉点現場

を持った委員による作業部会にしたい。

(環境衛生課)

問 ごみ袋の価格の見直しは。また近隣市町との兼ね合いは。

答 合併協議会のとき決めたことだが、環境衛生課としても、協議する。

(反対討論)

情報企画費の住基ネットシステムと須屋支所費の借り上げ料支払いに反対してきたので、認められない。

(賛成討論)

全体的に説明を受け妥当と判断する。住基ネットシステムは、国が進める事業でもあるし、須屋支所土地借り上げ料支払いも、契約に基づくもので正当である。